



森林によるCO2吸収に貢献する J-クレジット 販売のご案内

岩手県一関市は、市有林の間伐作業や保育活動などによって増加した二酸化炭素の吸収量について、国が認証する「J-クレジット」を取得し、販売を行っています。

このJ-クレジットを購入いただくことで、削減できない二酸化炭素の排出量を埋め合わせるカーボン・オフセットを実行することができます。

また、J-クレジットの購入は森林による二酸化炭素の吸収につながることから、地球温暖化防止対策へ貢献していることをPRし、自社のブランディングや、製品・サービスの差別化を図ることができます。

持続可能な未来をパートナーシップで実現する取組に皆様のご協力をお願いいたします。



販売単位	販売単価
1	税別 12,500
t-CO2	円/t-CO2

一関市の森林面積は78,918haで、市の総面積の約63%を占めています。その約1割に相当する市有林の森林管理プロジェクトを計画し、J-クレジットを創出しました。

2024年12月より販売中

購入者の募集

詳しくは、市ホームページで確認できます
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,178027,91,293,html>



申込方法

専用申込フォームから申してください
<https://logoform.jp/f/jGNNV>



岩手県一関市 農林部林政推進課

TEL 0191-21-8195

FAX 0191-21-4221

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2
rinsuisuishin@city.ichinoseki.iwate.jp

Jクレジット制度とは



カーボンオフセットとは

日常生活や経済活動におけるCO2等の温室効果ガスの排出について、できるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です。

Jクレジット制度の概要

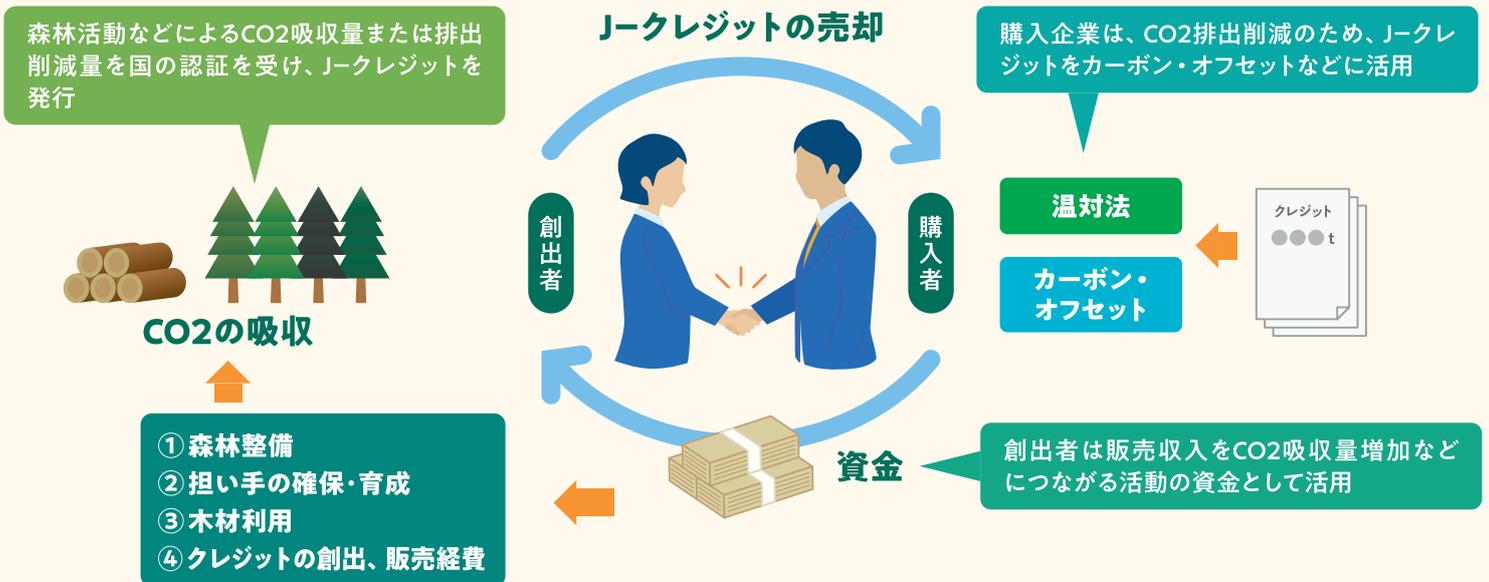
Jクレジットは、環境省、経済産業省、農林水産省が運営する制度であり、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をJクレジットとして認証しています。中小企業・自治体等の省エネ・低炭素投資等を促進し、クレジットの活用による国内での資金循環を促すことで環境と経済の両立を目指しています。

主な特徴

① 温室効果ガスの削減・吸収による創出、② 排出量取引に活用可能、③ カーボンニュートラルの達成支援、④ 政府による制度運営、⑤ 信頼性と透明性が高い

今回取得した一関市有林Jクレジットは、間伐などの森林施業や管理による二酸化炭素の吸収量の増加分として、令和6年8月22日に開催された認証委員会において3,801t-CO2の認証を受けました。8年間の計画で合計約26,000t-CO2を取得する予定です。

Jクレジット取引と販売収入の活用の流れ



一関市は、Jクレジットの販売益を森林整備や担い手育成などに活用します



伐採跡地に植林を進め、成長旺盛な若木による二酸化炭素の吸収を促進するほか、間伐によって間引きで残った木の成長を促進させ、吸収量を増加させるなど、森林整備によって温暖化防止機能をはじめとする森林の持つ環境機能の発揮を図ります。



市は、身近な森林の手入れを自ら行い、山に木を残しながら行う間伐によって持続的に収入を得ていく自伐型林業者を育成しています。経済と環境を両立させた林業の担い手づくりに取り組んでいます。



一関市産材の利用促進と木材産業の活性化を図るため、市産材を使用した住宅等を新築、増改築を行った場合に、施工業者に対し、補助金を交付しています。

市産材を建築用材として地産地消を進めることは、長期にわたる炭素固定と流通過程における排出削減につながります。